

# 業務の新聞

第74号 2021年 3月 5日

## 納得できる仕事?!

“ある職場”で、3月ダイヤ改正に向けた「枠外訓練」が行われています。

その中で「折り返しの時間」を使って車内清掃を行うように職場管理者が話していますが、

業務として行うのか？具体的にどのように行うのか？“清掃”にかける時間はどれくらいか？労働時間なのか？などなど社員からの率直な質問に「わからない」「決まっていない」というやりとりになっているそうです。

私たちは、納得した仕事がしたいのですが、残念ながら職場管理者はそのようには考えていないのでしょうか？

施策に対する「不明点・疑問点」を放置したままでは、何のプラスにはなりません。今一度考えてみましょう！

## 立ち寄り行動で

3月3日から始まった「地本立ち寄り行動」で参加いただいた組合員の方々から多くの意見が寄せられました。

「急病人対応での明確な指示がない」「醉客対応や急病人対応時に“手袋”を着用してもよいか」「新採の半減はどの様な意味があるのか」「車掌に経験のない運転士養成は大変だろうな、大丈夫なのか」「やっと毎日シーツ交換ができるようになった、取り組んでよかった」「特急や新幹線ではまだ席を廻して飲酒している」「新型コロナウイルス感染者の情報を開示すべきだ」「力ネ力ネばかり言いたくないが金だな、春闘頑張ろう！」…。皆さん仲間たちとはなしたいんだな！と強く感じました。

## ガマンと沈黙はNGです

「ガマンと沈黙はNGです！」何度かこの紙面でも記載してきました。皆さんにも思い当たることもあるのではないかでしょうか？

「納得した・納得して仕事がしたい！」「お客様の笑顔に接したい！」「子供たちから手を振ってもらえるJR社員でありたい！」と考えています。

職場の現実は“上意下達”のみになってはいませんか？職場管理者は“あなた”的話を聞いてくれますか？施策の説明を“適当に”“臨機応変に”とかあやふやな指示はありませんか？こんな否定的な職場現実は、ある意味私たちのガマンや沈黙で私たちが産みだしている可能性もあるということを忘れてはなりません。

相互により良い職場とより良い会社を創造するために遠慮なく職場から奮闘しましょう！

## 新たな生活様式

立ち寄り行動でも皆さんから、「新型コロナウイルス感染予防」に関する声が寄せられました。

東京では『緊急事態宣言』も2週間程度延長されることから、“自粛生活”も長くなり大変ですが、「皆さんご自愛ください！」

JR東日本グループのTVCMで「新型コロナウイルス感染予防は万全を期している」としていますが、あのTVCMに登場するグループ会社では、マスクすら配布していないところがあります。

これってNGなのではないでしょうか？

JR東日本会社がグループ全体の「新たな生活様式」をリードしていくべきだと考えます。マスクの配布すらできないで『2年続けて赤字にするわけにはいかない！』と叫んでも響きませんよね。